



学校教育目標

心豊かで、たくましい子ども
健康に努め、命を大切にする子ども

自ら学び、確かな力をもつ子ども
礼儀正しく、鮎貝を愛する子ども

校是「自彊」

自ら進んで一生懸命に
努力する鮎貝の子供



学習指導要領
第7次山形県教育振興計画
白鷹スタンダード

～町共通の体系化された学び
方・生活の仕方を継続～

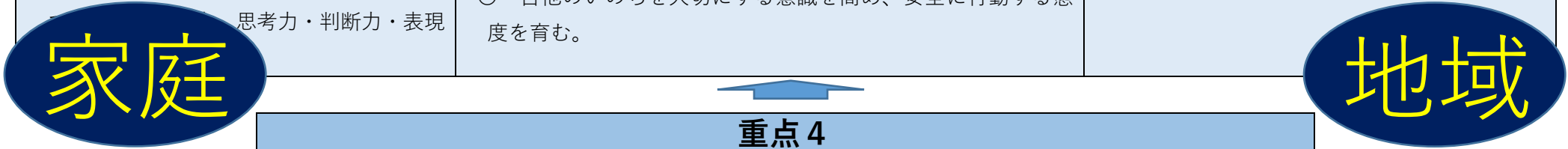
めざす学校像
「えがお」あふれる 鮎っ子の学び舎（職員室・教室・家庭・地域）

みんなで取り組む「あ・い・う・え・お」（校是・学校教育目標の具現化に向けた合言葉）

- 【あ】あきらめない ⇒めあてを持ち「がってしない」（へこたれない）で最後までやり続けること
- 【い】いのちを大切に ⇒事故にあわないようにすること・生活リズムを整え病気や怪我をしないようにすること・いじめをしないこと、許さないこと
- 【う】うつくしい姿勢 ⇒立腰を意識した生活で体と心を強くすること・目と耳と心で話を聞くこと
- 【え】笑顔であいさつ ⇒誰にでも笑顔であいさつをすること
- 【お】おもいやり ⇒周りの人に優しく接すること・感謝や賞賛のこたばを素直に言えること・白鷹町や鮎貝・友達の良さを知り、誇りをもつこと

目標を実現させるための 重点と具体

重点1	重点2	重点3
(1)主体的な学習態度を引き出す授業の充実 - 必要感のある課題設定を通して、一人一人が考えを持ち、表現しようとする意欲を育む。 “わかる・できる”“伸びる”と、次に“活かす”学びが自覚できるようになるための学習評価と振り返りを充実する。	(1)レジリエンスの育成 - 教育活動全体で、生徒指導の実践上の視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を活かした活動を行い、児童一人一人の自己指導力を獲得させることで自己肯定感を育む。 - 個に応じた適切なめあて（目標）を設定し成功体験を積み重ねたり、お互いがそれぞれの取組や努力の過程を承認・共有したりすることで自己効力感を育む。 - 協働的な集団活動を通して、寛容な態度で仲間の多様性を受け入れ、絆を感じ取り紡いでいこうとする態度を育む。	(1)体力と運動能力の向上と挑戦する態度の育成 - 自己の体力・運動能力を知り、適切なめあてを設定し、その達成に向け、仲間と関わり合いながら、あきらめずに取り組もうとする態度を育む。 - 体を動かすことの楽しさや喜びを感得し、主体的に運動に挑戦しようとする態度を育む。
(2)思考力・判断力・表現力を育む授業の充実 - 基礎基本の定着を図り、身につけるべき資質・能力を実現するための、カリキュラムマネジメントや単元構成の工夫と、仲間との協働的な学びを通して考える力を育む。 - ICTの活用や読書活動の充実を通して思考力・判断力・表現	(2)課題解決に向け主体的・能動的に行動する力の育成 - よりよい生活をめざし、主体的に考え、課題解決に向け行動する力を育む。 - 自他のいのちを大切にする意識を高め、安全に行動する態度を育む。	(2)健康的な生活に向けた取組 - 食育の充実と生活リズムの確立を通して、主体的に健康づくりに取り組もうとする態度を育む。 - 健康課題を自分事として捉え、解決を目指す健康教育活動を通して、いのちを大切にし、つないでいこうとする態度を育む。



鮎っ子見守り隊

PTA 広報部 育成研修部

自彊会

学校後援会

民生委員児童委員

区長会

重点4

- 地域の方々・関係団体との連携を密にし、地域の実情や児童の実態に応じた教育活動を展開する。
- 鮎貝人の誇りを育むためのふるさと学習を通して、地域を知り、愛する心を育む。
- 地域の人や事象等と触れ合う活動を通して、地域への関心・意欲、夢や希望、憧れ等の心情を育む。
- 地域の良さや課題に触れ、思考・判断・表現する活動を通して自分事として捉え、自己有用感を育む。

重点5

- 多角的・多面的な児童理解に基づき、児童一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の理念に基づいた教育活動を通して、誰一人取り残さない、自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する。

重点6

- 教職員の資質向上のための研修機会を確保し、教育活動の更なる質的向上のために、PDCAサイクルの確立による教育活動の改善を図る。また、児童数減少・感染症対策・熱中症対策を見据えた働き方改革を積極的に推進し、ダウンサイジングによる持続可能な体制への転換に努める。

地域の宝物鮎っ子をみんなで育てていきます

学校運営協議会

